

第1回あんぜん塾が開講されました。

岡山労働基準監督署は平成30年7月24日（火）におかやま西川原プラザ（岡山市中区西川原255）において、倉敷労働基準監督署は平成30年7月18日にくらしき健康福祉プラザ（倉敷市笹沖180）において、事業場の安全衛生管理レベルアップを目的とした「第1回あんぜん塾」が開講されました。

これは、昨年、労働災害が大幅に増加したことを受け、事業場の安全衛生管理レベルアップを目的として開催されるもので、岡山産業保健総合支援センターは共催として、産業保健相談員の道明道弘医師が、「医師から見た職場の熱中症対策」と題し、講演をしました。

熱中症の発生機序ほか、スポーツドリンク等による糖分の過剰摂取にも気をつけながら十分な水分を摂取することが大切であること、また、熱中症は、命にかかわることであり、疑われる症状がある場合は躊躇なく救急車を要請することなど医師の立場から熱中症対策を説明されました。



あんぜん塾は、9月に第2回、11月に第3回が開講され、岡山産業保健総合支援センターでは、第2回に「過重労働による健康障害防止」、第3回に「化学物質によるリスクへの対応」の講話を行います。